

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 9 日 (2021.12.9)

【公開番号】特開 2021-90635 (P2021-90635A)

【公開日】令和 3 年 6 月 17 日 (2021.6.17)

【年通号数】公開・登録公報 2021-027

【出願番号】特願 2019-223220 (P2019-223220)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/511 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/511 1 0 0

A 6 1 F 13/511 3 0 0

A 6 1 F 13/511 4 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 29 日 (2021.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液透過性の表面シート、裏面シート並びに該表面シート及び該裏面シートの間に位置する吸収体を有し、着用者の前後方向に対応する長手方向と該長手方向に直交する幅方向とを有する吸収性物品であって、

前記表面シートは、前記長手方向に沿って延びる第 1 凸条部と、第 1 凸条部に隣接して位置するとともに、前記長手方向に沿って列状に且つ周期的に蛇行するように配置される第 2 凸部列と、第 1 凸条部の稜線を対称軸として、第 2 凸部列と対称な位置に配され且つ第 2 凸部列と対称な形状を有する第 3 凸部列とを備え、

前記表面シートを前記幅方向に沿って見たときに、第 1 凸条部、第 2 凸部列、第 1 凸条部及び第 3 凸部列がこの順序で配置された繰り返し単位が形成されており、

前記第 1 凸条部は、幅方向の長さが周期的に増減しており、

前記第 1 凸条部における該長さが最も小さい部分に、該長さが最も大きい部分よりも構成繊維の密度が高い第 1 高密度領域が形成されており、

前記第 1 凸条部は、複数の第 1 凸部を含み、

長手方向に隣りあった該第 1 凸部の間に前記第 1 高密度領域が形成されており、

前記第 1 凸条部及び前記各凸部列は、それぞれ圧搾部によって画定されており、

前記第 1 高密度領域は前記圧搾部を有しておらず、

前記第 1 高密度領域の最大厚みは前記第 1 凸部の最大厚みよりも小さく、

前記第 1 凸部は、複数の大凸部と、平面視における面積が該大凸部よりも小さい複数の小凸部とを有し、

第 1 高密度領域を介して、前記大凸部と前記小凸部とが交互に且つ列状に配置されており、

直線状の第 1 固着部と該第 1 固着部よりも短い直線状の第 2 固着部とが交互に且つ直列に配置された第 1 固着部列と、直線状の第 3 固着部と該第 3 固着部よりも短い直線状の第 4 固着部とが交互に且つ直列に配置された第 2 固着部列とを更に備え、

第 1 固着部列と第 2 固着部列とはそれぞれ、互いに平行に多数本形成されており、

第 1 固着部列と第 2 固着部列とはそれぞれ、前記長手方向に対して互いに逆向きに傾斜

しており、

前記大凸部は、隣り合う第1固着部列における2つの第1固着部と、隣り合う第2固着部列における2つの第3固着部とで囲まれた領域における菱形状の区画に形成されている、吸収性物品。

【請求項2】

直線状の第1固着部と該第1固着部よりも短い直線状の第2固着部とが交互に且つ直列に配置された第1固着部列と、直線状の第3固着部と該第3固着部よりも短い直線状の第4固着部とが交互に且つ直列に配置された第2固着部列とを備え、

第1固着部列と第2固着部列とはそれぞれ、互いに平行に多数本形成されており、

第1固着部列と第2固着部列とはそれぞれ、前記長手方向に対して互いに逆向きに傾斜しており、

前記小凸部は、隣り合う第1固着部列における2つの第2固着部と、隣り合う第2固着部列における2つの第4固着部とで囲まれた領域における菱形状の区画に形成されている、請求項1に記載の吸収性物品。

【請求項3】

直線状の第1固着部と該第1固着部よりも短い直線状の第2固着部とが交互に且つ直列に配置された第1固着部列と、直線状の第3固着部と該第3固着部よりも短い直線状の第4固着部とが交互に且つ直列に配置された第2固着部列とを備え、

第1固着部列と第2固着部列とはそれぞれ、互いに平行に多数本形成されており、

第1固着部列と第2固着部列とはそれぞれ、前記長手方向に対して互いに逆向きに傾斜しており、

第2凸部列は、複数の第2凸部が、前記長手方向に沿って列状に配置されており、

第2凸部は、隣り合う第1固着部列における2つの第1固着部と、隣り合う第2固着部列における2つの第4固着部とで囲まれた領域、並びに、隣り合う第1固着部列における2つの第2固着部と、隣り合う第2固着部列における2つの第3固着部とで囲まれた領域における平行四辺形状の区画にそれぞれ形成されている、請求項1又は2に記載の吸収性物品。

【請求項4】

前記表面シートの構成繊維の密度が前記第1凸条部、前記第2凸部列及び前記第3凸部列よりも高い第2高密度領域が、該第2凸部列及び第3凸部列のそれぞれに、該各凸部列の延在する方向に間欠的に形成されている、請求項1ないし3のいずれか一項に記載の吸収性物品。

【請求項5】

第2高密度領域は圧搾加工が施されていない領域であり、且つ、その最大厚みが、第1凸条部及び各凸部列の最大厚みよりも小さい領域である、請求項4に記載の吸収性物品。

【請求項6】

第1凸条部は、第2高密度領域を介して、第2凸部列及び第3凸部列とそれぞれ連結している、請求項4又は5に記載の吸収性物品。

【請求項7】

前記吸収体は、低坪量部と、該低坪量部よりも坪量が高い高坪量部を備え、

前記高坪量部には、前記吸収体が前記表面シート側に開口し、且つ前記長手方向に沿って延びる複数の溝状開口部が形成されている、請求項1ないし6のいずれか一項に記載の吸収性物品。

【請求項8】

前記表面シートと前記吸収体との間に繊維層が配されており、

前記繊維層は、その繊維密度が前記表面シートよりも大きい、請求項1ないし7のいずれか一項に記載の吸収性物品。

【請求項9】

前記表面シートは、肌対向面側に配される上層と、非肌対向面側に配される下層とを備えており、

前記上層は熱伸長性繊維を含み、前記下層は熱伸長性繊維を含まないか、又は熱伸長性繊維を前記上層よりも低い割合で含み、

前記上層を構成する繊維と水との接触角が、前記下層を構成する繊維と水との接触角よりも大きい、請求項 1 ないし 8 のいずれか一項に記載の吸収性物品。

【請求項 10】

前記表面シートの非肌対向面は平坦である、請求項 1 ないし 9 のいずれか一項に記載の吸収性物品。